



HIRANO TECSEED Co.,Ltd.

第98期 株主通信

2021年4月1日から2022年3月31日まで



株式会社 ヒラノテクシード



「Wet & Dryのコーティング装置」で 世界トップクラスの企業として、 企業価値の一層の向上を目指します。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、第98期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の決算を終了いたしましたので、その概況につきましてご報告申しあげます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2022年6月

取締役社長 園田 薫

当連結会計年度におけるわが国の経済は、自動車や半導体等の輸出が景気を下支えする一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が適用された事で急速な経済活動の停滞も見られました。

ワクチン接種の普及や感染者減少により、各種措置の制限が緩和され経済活動の再開により、緩やかな回復基調にありましたが、変異株の感染拡大懸念も広がりました。また、海外での経済活動の再開を受けて製造業を中心に業績の改善が見られましたが、半導体などの電子部材の不足や原油価格の高騰等による産業資材の値上がりなど、生産活動に影響を及ぼす様々な問題が顕在化し、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

世界経済においても、ワクチン接種が進展する米国や中国などでは経済活動が再開され、回復傾向で推移いたしましたが、ロシアによるウクライナ侵攻により、産業資材が更に高騰するなど、予断を許さない状況であります。

また、米国の金融引き締めによる金利上昇で、為替市場における円安が進行など、景気の先行きの不透明性が一層高まり、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、新スローガンである「今から100年継続できる会社しよう」のもと新年度をスタートいたしました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、生産活動が制限される事に加えて原材料価格の高騰や電子部材の不足等があり、厳しい状況ではありますが生産体制を確保し、売上高、利益ともに堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は37,866百万円となり、利益面では経常利益は4,122百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,103百万円となりました。

なお、当連結会計年度より、「収益認識に関する会計基準」(企業会

計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。これに伴い、当連結会計年度における売上高は、前連結会計年度と比較して大きく増加しております。そのため、当連結会計年度における経営成績に関する説明は、前連結会計年度と比較しての増減額及び前年同期比(%)を記載せずに説明しております。

受注につきましては、活況な市場環境を背景に、電気自動車関連市場及び電子部材関連市場等を中心として受注高並びに受注残高ともに過去最高水準となり、受注高は72,561百万円(前年同期比71.2%増)、受注残高につきましては、68,835百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症や継続している世界的な半導体等の部材供給不足や原材料の高騰に加え、ロシアのウクライナへの侵攻による情勢不安や円安の影響により、景気の先行きは厳しさを増しており、国内外の景気は下振れリスクが一層懸念されます。

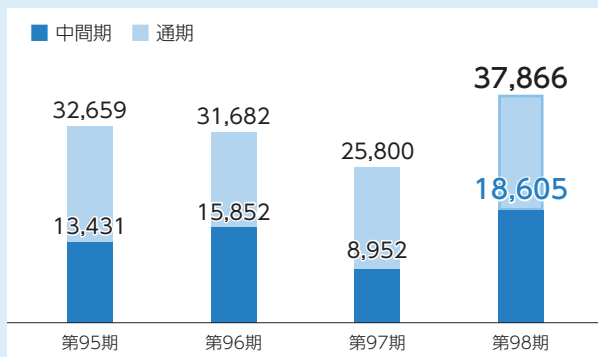
このような状況のなか、当社グループといたしましては、従業員及び関係する皆さまの安全確保並びに新型コロナウイルスの感染拡大の防止を徹底するとともに、電気・電子部材関連やエネルギー関連分野を中心とした活況な受注環境に 대응するため、生産体制を強化し一層強固な経営基盤を目指すとともに、顧客満足度の向上、新技術開発、新市場開拓に取り組んでまいります。

現段階におきまして、次期の売上高は42,000百万円、営業利益は3,400百万円、経常利益は3,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,600百万円を見込んでおります。

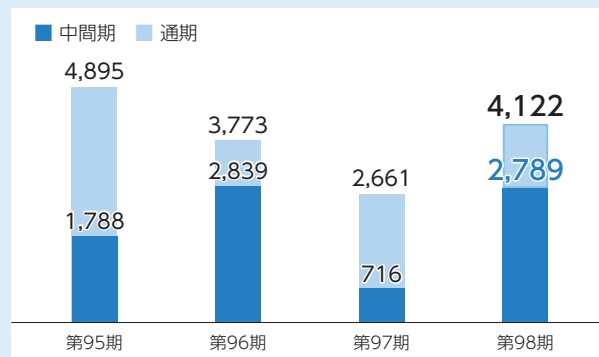
なお、この業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後、新型コロナウイルスの感染拡大への影響及び地政学的リスク並びに市場環境の変化等により業績予想の修正を行う必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

連結業績ハイライト

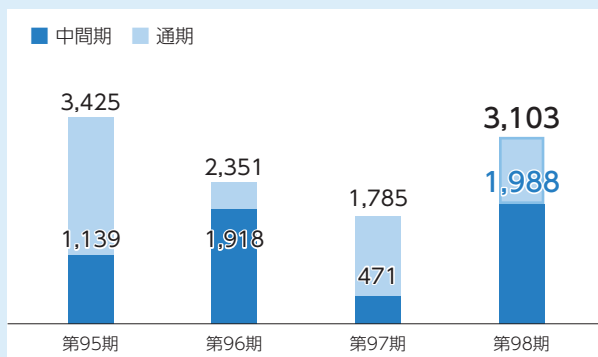
売上高 (百万円)



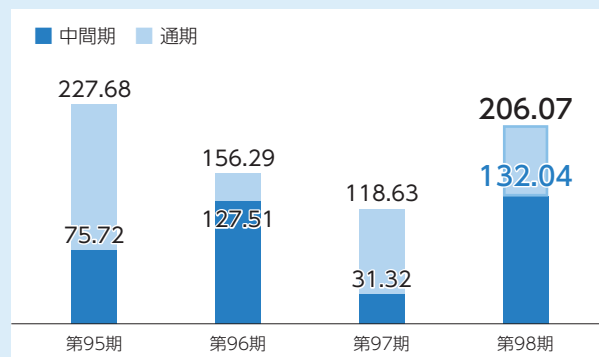
経常利益 (百万円)



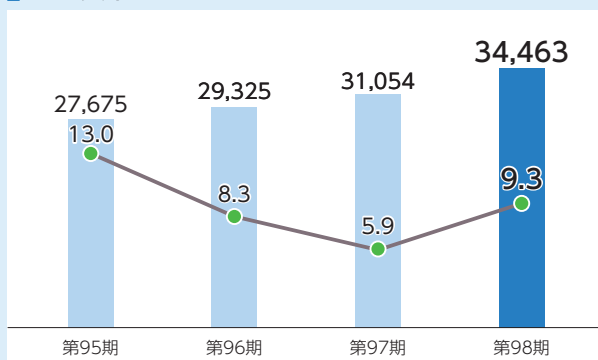
親会社株主に帰属する当期 (中間) 純利益 (百万円)



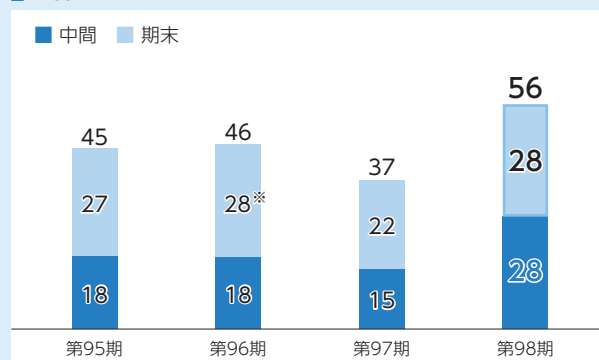
1株当たり当期 (中間) 純利益 (百万円)



自己資本 (百万円) / ROE (●) (%)



1株当たり配当金 (円)

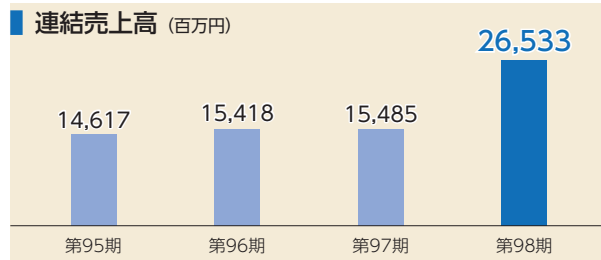
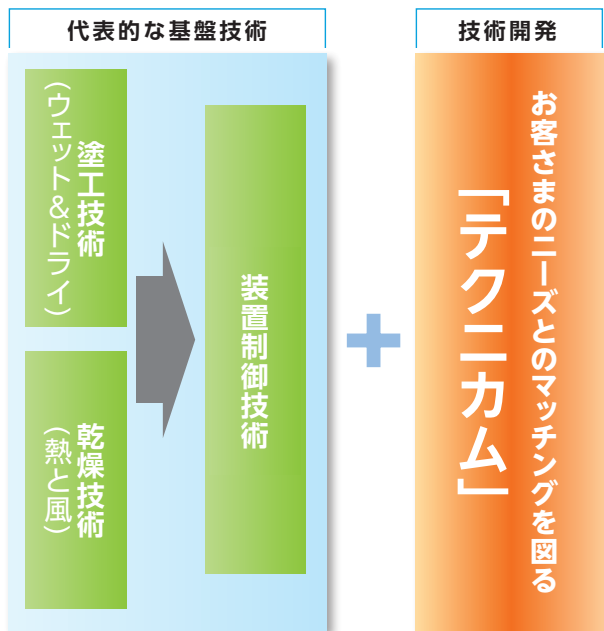


*普通配当18円に木津川工場竣工記念配当10円を含んでおります。

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、第98期の数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

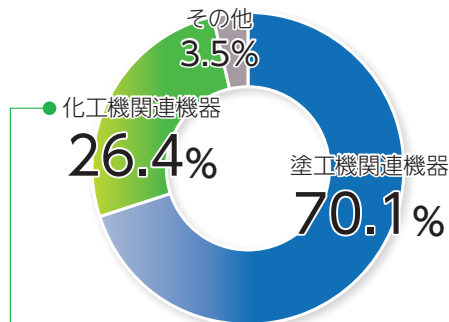
セグメント別状況

「塗工」「乾燥」「制御」の技術を融合させ、幅広い産業に欠かせない製造装置をお届けしております。



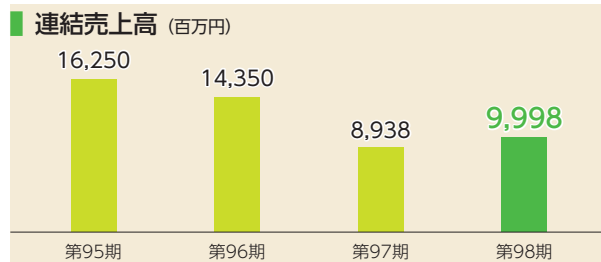
各種コーティング、ラミネーティング装置並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置

**塗工機
関連機器**

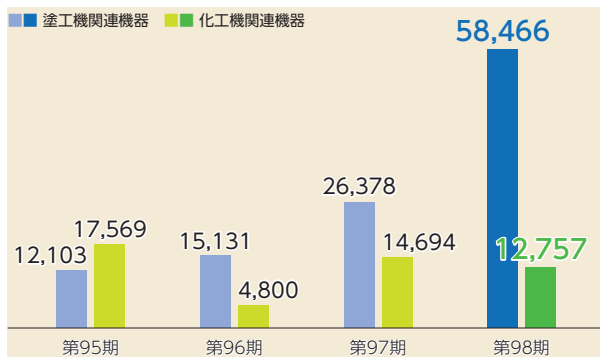


**化工機
関連機器**

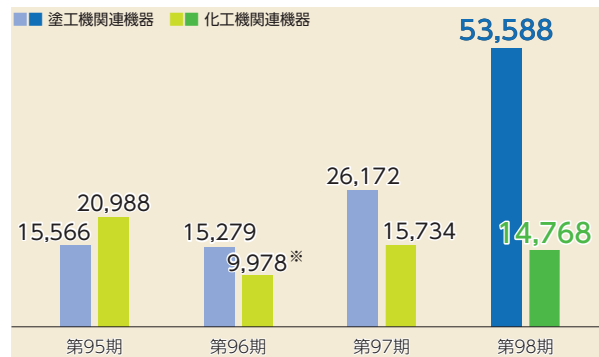
各種成膜装置、不織布・高機能繊維製造装置、フラットパネル塗布乾燥装置並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置



受注高 (百万円)



受注残高 (百万円)



※客先の投資計画の凍結に伴い、1,460百万円を減額しております。

(注) [収益認識に関する会計基準] (企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、第98期の売上高・受注残高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

トピックス

木津川工場に太陽光パネル設置

2022年2月に木津川工場の屋上に太陽光発電設備(太陽光パネル960枚)を設置いたしました。発電量は最大で355.2kwとなり、工場内の電力消費に大きく貢献するとともに年間131tものCO₂削減効果が見込まれます。これは、身近なものに換算すると杉の木約10,508本が1年間に吸収するCO₂量にあたります。太陽光発電による再生可能エネルギーを利用しながら、限られた資源を無駄なく上手に使う事が地球温暖化への対策の1つとして有効だと言えます。

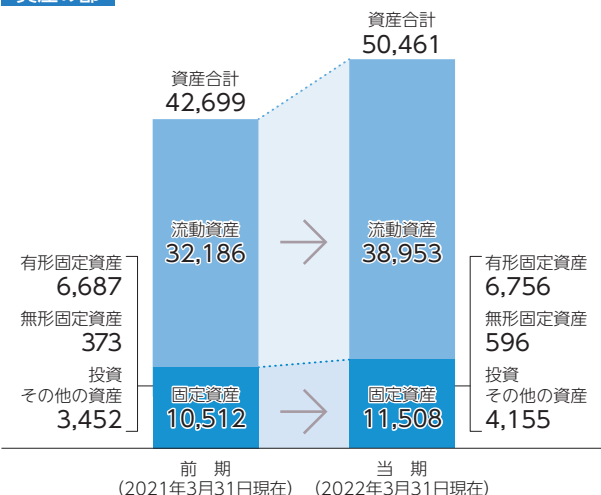
当社は、CO₂排出量抑制など環境への負荷を低減し、持続可能な社会の実現に貢献できるように推進してまいります。



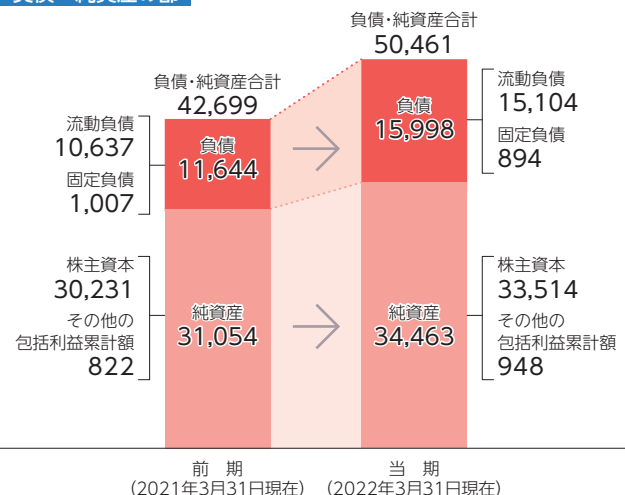
連結財務諸表

資産の状況 (百万円)

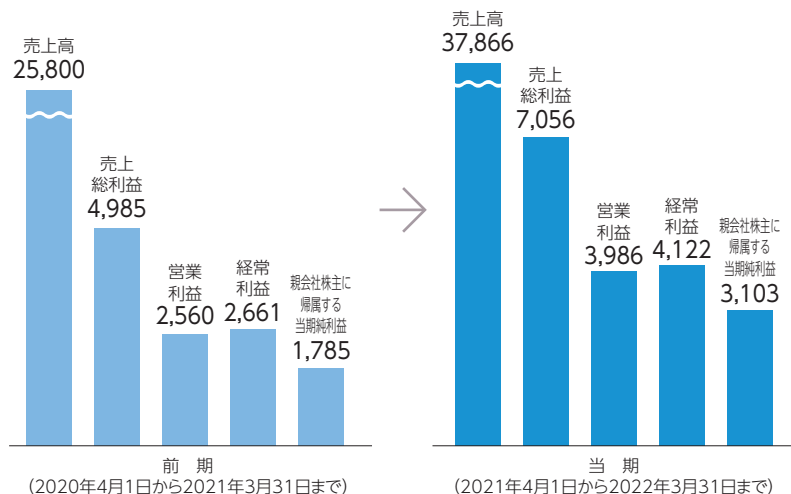
資産の部



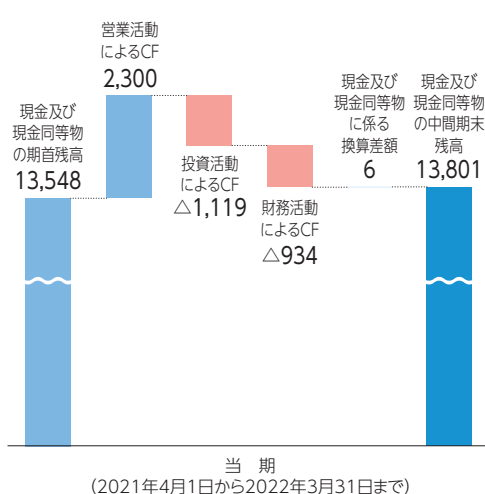
負債・純資産の部



損益の状況 (百万円)



連結キャッシュ・フローの状況 (百万円)




(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、第98期の数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

配当のお知らせ

第98期配当金につきましては、1株当たり普通配当28円(中間配当金28円と合わせて、年間配当金は1株当たり56円)とさせていただきます。

■ 会社の概要

社名	 株式会社 ヒラノテクシード
英文社名	HIRANO TECSEED Co.,Ltd.
創業	1935年6月1日
設立	1949年7月25日
資本金	1,847,821,888円
従業員数	292名
事業所	本社 〒636-0051 奈良県北葛城郡河合町大字川合101番地の1 電話 (0745) 57-0681
	木津川工場 〒619-0215 京都府木津川市梅美台8丁目1番24 電話 (0774) 46-8715
	東京支店 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町一丁目16番地 (ヒューリック神田ビル3F) 電話 (03) 5289-8834

■ 役員 (2022年6月27日現在)

取締役社長 (代表取締役)	岡田 薫
常務取締役	安居 宗則
取締役	金子 二雄
取締役	岡田 富美一
取締役	原 昌史
取締役	大森 克洋
社外取締役	藤本 万太郎
社外取締役	小西 隆志
取締役 (常勤監査等委員)	田澤 憲二
社外取締役 (監査等委員)	高谷 和光
社外取締役 (監査等委員)	辻 淳子

■ 子会社

ヒラノ技研工業株式会社	(産業用機械器具製造)
株式会社ヒラノK&E	(真空装置等製造及び 繊維機械等部品製造)

■ 株式の状況

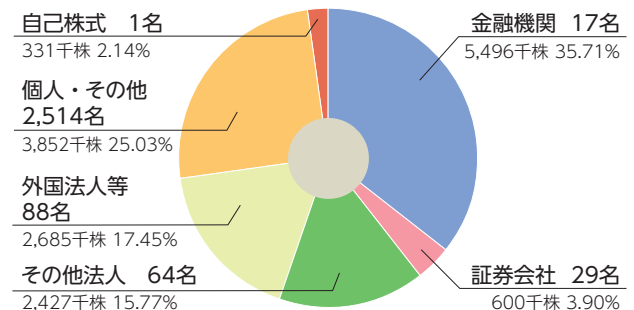
発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	15,394,379株
株主数	2,713名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数 千株	持株比率 %
明治安田生命保険相互会社	1,450	9.63
伊藤忠商事株式会社	1,450	9.63
ヒラノ会	1,307	8.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	828	5.50
株式会社三菱UFJ銀行	737	4.89
株式会社りそな銀行	731	4.85
PERSHING-DIV.OF DLJ SECS.CORP.	525	3.49
立花証券株式会社	412	2.74
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	403	2.68
株式会社南都銀行	300	1.99

(注) 1. 上記のほか、自己株式331,562株を保有しております。
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	6245
公告掲載方法	電子公告 (https://www.hirano-tec.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告ができない場合は、大阪市 において発行する日本経済新聞に掲載を行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問合せ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 (通話料無料) : 0120-094-777

※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行のインターネットでも24時間承っております。

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

ヒラノテクシード ホームページ



<https://www.hirano-tec.co.jp/>

ホームページで当社の事業活動、商品の案内、投資家情報などに関する詳しい情報をご覧いただけます。
ぜひご利用ください。